

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



ヤルカ村で穀物貯蔵庫を見せてくれた住民。ぎっしりと詰まっています。

ごあいさつ

まだ寒い日が続いておりますが、皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。出張中のブルキナファソより、ご挨拶いたします。

昨年は、国内外において、団体や活動を取り巻く状況に、熟慮を必要とする機会が多々ありました。国内では、団体を運営する上で厳しい局面が続き、しんどさを感じることがありました。幸い、多くの方のお力添えにより、無事に乗り切ることができました。また、ブルキナファソ現地においては、11月頃より、武器を用いた事件が各地で発生するようになりました。懸念すべき傾向ではありますが、主たる対象は軍関係であるため、神経を常に張り詰めさせておくような状況ではありません。

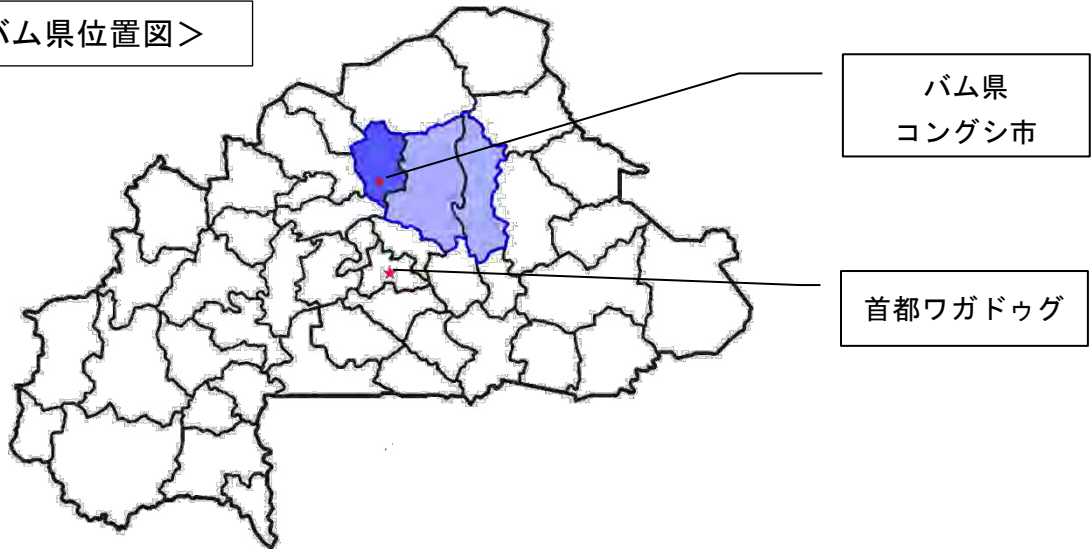
一方で、プロジェクトの実施により、食料事情と現金収入の面で、住民が実感できるような結果が出ています。これは、住民自身の取り組みと現地の協力団体であるAJPEE（環境保全畜産保全協会）のおかげです。ただ、このような活動が行なえるのは、当団体の考え方や手法に対して、理解と支援をして下さる皆様があってのことだと考えております。楽とは言えない世相にあって、皆様のご助力には深謝しております。

もう間もなく、早春の頃合いとなります。皆様のご多幸を祈念致します。

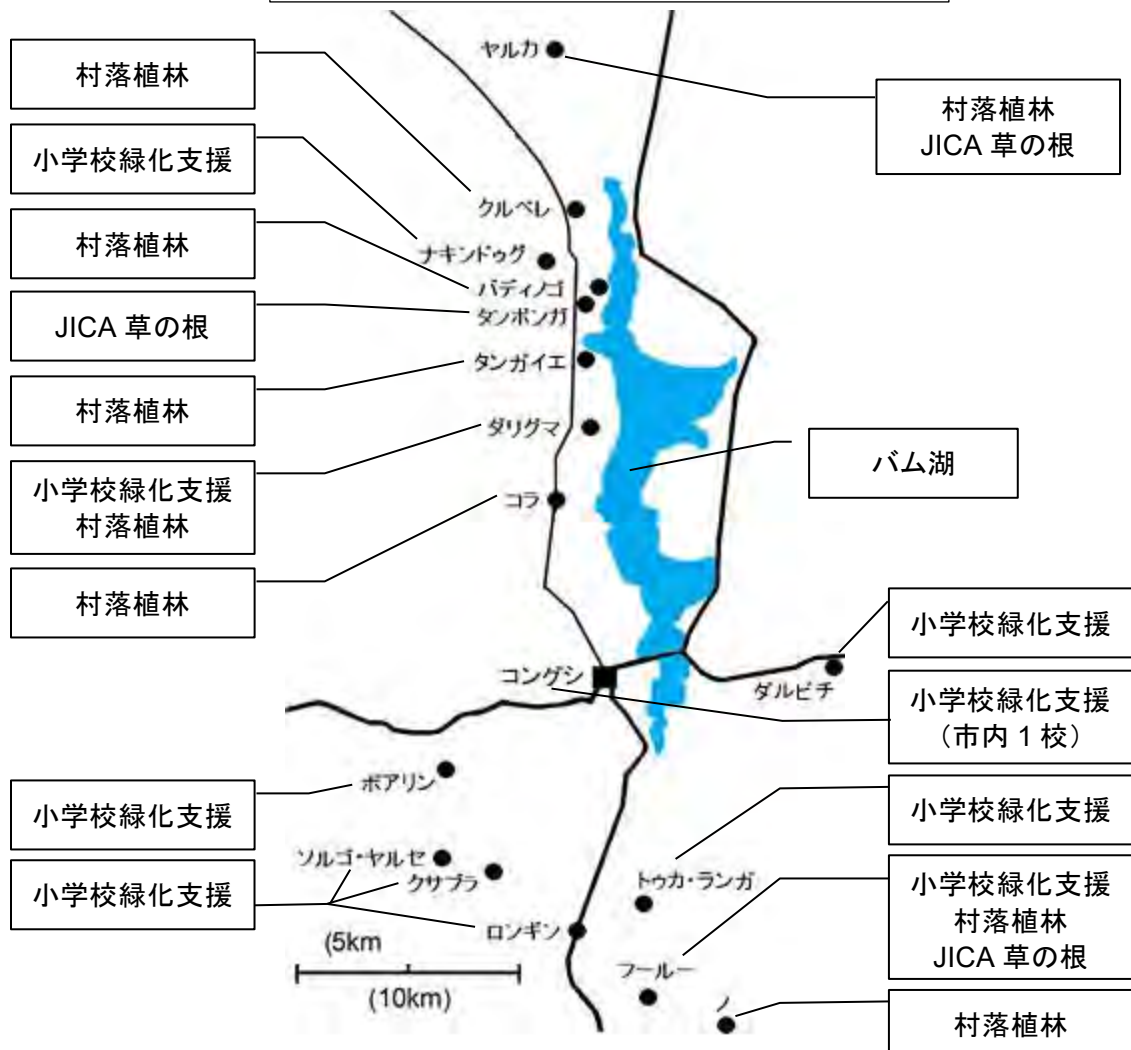
緑のサヘル 代表理事 岡本敏樹

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



ブルキナファソにおける 2018 年の雨季は、降雨状況がとても良かったため、全国的に豊作といえる収穫結果になりました。村々の貯蔵庫（グルニエ）には穀物がいっぱいに詰め込まれており、住民からは「来季の収穫時期まで不足しない」という発言がありました。聞いているこちら側も安堵しました。

JICA 草の根技術協力事業

<ディグット（石堤）>

3 村では、ディグット用の石の運搬と栽培地への設置作業が進められています。2014 年 11 月から開始された現行の草の根技術協力事業では、ディグットを設置する最後の機会になります。

トラックによる石運搬は、12～1 月の間に、合計 484 回行なわれました。また、19 名の栽培地に、ディグットが設置されました。石運搬と設置は、3 月まで続きます。



侵食の深い場所に設置された蛇籠（ガビオン）。
（タンポンガ村）

なお、侵食がより深く、かつ幅の広い場所には、ディグットよりも強固なガビオン（蛇籠）が設置されます。既に設置された場所では、良好な降雨もあり、2018 年雨季には稲作を行なうことができました。毎年可能というわけにはいきませんが、侵食防止だけでなく、新たな土地利用につながったと考えています。

<ザイ農法・堆肥>

3 村では、来季用の堆肥作りが始まりました。各村 2 チーム計 30 名のメンバーが、利用している作製穴へ材料を運び、積み込み作業を行ないました。



2 つの作製穴に、材料の積み込み作業を終えたメンバー。
（タンポンガ村）

これまで、プロジェクト側の支援として、堆肥の材料である乾燥糞の購入代金を一部負担してきました。しかし、今回の作製からプロジェクトの支援は終了し、自分たちで購入することになりました。どの村からも支援終了についての異議はなく、順調に作業は進みました。

これは、ザイ農法・堆肥活動による変化が実感できるほどはっきりしたものであり、継続する価値があるとメンバーが判断した結果であると考えています。

ブルキナファソから 2



村落植林プロジェクト

8村で行なっている村落植林ですが、11月に、ユーカリ苗木を計13,260本配布し、各村の実施者によって植栽されました。植栽地によっては土がよく湿っており、作業が容易でした。植栽面積は、計23.3haです。



苗木の植栽を行なう実施者と家族・友人たち。
(タンガイエ村)

また、成長したユーカリが、用材として販売されました。太くてまっすぐに成長したユーカリには需要が多く、販売単価が高くなります。2018年は、5村5名が販売しました。計301本のユーカリが売られ、合計875,500cfa(約175,100円)の現金収入になりました。一方で、曲がったり、他の木の成長を妨げたりしている木は、適宜、間伐されます。このような間伐木は、家庭用として使用されます。プロジェクトが意図する生活林としての機能が発揮されています。

チャドから



食料事情は当面良くないました。しかし、5月以降が懸念されます。



仲間たちと食事をする住民。
(バイリ村、1997年)

2018年の雨季栽培については、降雨が順調であったため穀物は良好に成育し、収穫量が増加しました。具体的には、直近5年間の平均と比べて、約12%の増加となりました。おかげで家庭での備蓄量は増加し、厳しかった食料事情は回復しています。

また、栽培地の保水状態が良かったため、晩生のモロコシであるベレベレの成育が良好であり、2~3月にかけて収穫できる見込みです。

しかし、一部の地域では、今後の状況について厳しい見方がされています。南部の州、モイエ・シャリやマンドゥール、タンジレ、

ロゴン・オリエンタル、ロゴン・オキシデンタルでは、家庭で備蓄されている穀物が、例年よりも2~3ヶ月程度早い、5月ごろに底をつくのではないかとみられています。暑さの盛りに、食料が不足するような事態を回避できるよう願っています。

国内活動



11月に、毎年の恒例となっている岩手講演を実施しました。3市1町において小・中学生や一般の方々を対象に計10回の講演を行ない、819名の皆さんにお話を聞いていただきました。また12月には、JICA（国際協力機構）や農林水産省が主催する研修で講師を務めました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

2018年						
11月	6日(火)	岩泉町立 小川中学校	(1～3年生 42名)	講演	(菅川)	
	7日(水)	盛岡市立 桜城小学校	(5年生 54名)	講演	(菅川)	
	9日(金)	盛岡市立 見前南中学校	(2年生 139名)	講演	(菅川)	
	10日(土)	「緑のサヘル報告会」	(盛岡市：一般9名)	講演	(菅川)	
	12日(月)	一関市立 磐井中学校	(3年生 180名)	講演	(菅川)	
	13日(火)	一関市立 東中学校	(1～3年生 93名)	講演	(菅川)	
	14日(水)	滝沢市立 滝沢東小学校	(5年生 44名)	講演	(菅川)	
	15日(木)	一関市立 東山中学校	(1年生 42名・2年生 51名)	講演	(菅川)	
	16日(金)	盛岡市立 黒石野中学校	(2年生 165名)	講演	(菅川)	
12月	3日(月)	「JICA 課題別研修」	(研修員 9名)	講師	(菅川)	
	7日(金)	「農林水産省 海外派遣技術者研修」	(関係職員 8名)	講師	(菅川)	
2019年						
1月	22日(火)	「JICA 草の根技術協力事業」情報交換会		出席	(大谷)	

JICA研修員への講義

昨年12月3日、当団体の菅川が「JICA（国際協力機構）筑波センター」で行なわれた「課題別研修 サブサハラアフリカ 気候変動に対するレジリエンス強化のための砂漠化対処」において講師を務めました。

この研修は、アフリカの国々から招かれた研修員が、砂漠化への対策や対応力強化のための取り組みを学び、各々の国の政策に資することを目的にしたもので、「JICA 筑波」の委託を受けた「（一財）地球・人間環境フォーラム」の実施によるものです。



研修員の皆さんに、「緑のサヘル」の活動を紹介。

菅川が講師を務めたのは一昨年に続いて2回目で、エチオピアやケニア、ニジェールやブルキナファソ等、9名の研修員を対象に「緑のサヘル」が行なって来た活動や培って来た技術、また様々な経験を紹介しました。講義中には、研修員による自国の取り組みの披露や情報の交換も行なわれ、「緑のサヘル」にとっても貴重なひと時となりました。



2018年 雨季キャンペーン 報告

現地の雨季は、年によって多少の変化はありますが、だいたい6月頃から雨が降り始め、10月上旬まで続きます。この時期は農繁期となりますが、「緑のサヘル」が現地の方々と取り組んでいる「食糧の増産」、「現金収入の向上」、「環境の回復」等、各分野の活動にとっても大切な時期となります。

「緑のサヘル」では、雨季の間の活動を円滑に進めるため、ニュースレターNo.74（2018年6月6日発行）において、10月31日までの期間限定で「雨季キャンペーン」を実施する旨、ご案内しました。この結果、期間中に計12件、53,000円のご寄付が皆様から寄せられました。



フールー村では植栽苗木の管理作業が続けられています。

ご支援いただいたご寄付は、「村落植林」を行なっている8村の植林実施者が、雨季の間に行なう植栽苗木の管理経費（228,000円）の一部、具体的には8村の一つであるフールー村の5名によって植えられた1,500本の苗木を維持・育成する経費に充当させていただきました。おかげさまで、フールー村の植栽苗木は順調に育ちつつあります。皆様のご支援に心より感謝いたします。

インターン終了のご挨拶

「緑のサヘル」の皆様、約4か月の間、大変お世話になりました。期間が6か月未満のインターンの受け入れは例外的だったそうで、私を受け入れる事でたくさんご迷惑をおかけしたかと思います。

インターンでは「援助とは何か」という根本的な概念から、各国での事業内容の詳細なども教えていただき、私自身の考えが180度変化したり、たくさんの新しい事柄を知ることが出来て、とても有意義な時間を過ごせました。

今回の経験が将来に繋がるよう、更に努力を重ねて参りたいと思います。4か月間、本当にありがとうございました！



（牧野恵実）

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【新規会員のみなさま】

宇野泰子

【継続会員のみなさま】

佐貫真木子／佐賀明子／今井奈津子／野々山富雄／榎本雅子／福川佐代／浅輪哲司
田辺諄児／田中ちえ子／今野進／石本雄大／坂井真紀子／梅田暢子／杉本和／柏原竜一
木嶋清江／東千尋／宮田春夫／矢野友一郎／加藤和雄／上野幸子／村井智恵子／佐々木順平
大久保久美子／和田隆資／綱島孝／瀬戸栄一／瀬戸謙二／瀬戸泰三／瀬戸義子／鈴木幸子
野口鉄雄／坂本有希／援助修道会 管区本部
他 匿名をご希望の方 2名

【ご寄付を頂きました】

余語盛男／今井奈津子／野々山富雄／増岡一樹／竹中和子／佐藤裕美／氏岡治代／武藤彰子
井上るみ子／石毛弘／伊藤雄高／土蔵愛子／松田曜子／宮本秀子／葛原睦子／田辺諄児
小笠原弘子／田中ちえ子／須藤さい／中久保慎一／田中順子／齊藤せい子／小池昌子
西村豊子／村上和代／梶野修平／坂井真紀子／梅田暢子／木嶋清江／澄田静／岩永孝子
太田弘子／宮田春夫／高木真味子／松岡亜湖／徳永由希子／太田宜子／山野上素充
勝間朋子／米江勝彦／桜井より子／小林五十鈴／青柳美知子／赤山孝子／大段るみ子
奥康功／加納愛子／神野潤子／東海林茂子／高瀬光代／富谷晋／花垣末男／花垣正
水島多衛子／浅井賢太郎／大段紀代子／ギャラリー＆窯バオバブ 堀越信代
(株)加藤均総合事務所／かみひとねっとわーく事務局 蛭名健仁・加奈子／稽古場風 堀籠貴子
国際ソロプチミスト大阪ー中央／国際ソロプチミスト若狭／援助修道会 管区本部
日本聖公会 西宮聖ペテロ教会／個別教育フォレスト安多秀司

【雨季キャンペーン ご寄付を頂きました】

佐賀明子

他 匿名をご希望の方 12名

【BOOK募金を通じてご寄付を頂きました】

伊藤良三／山田和也／飯田三代

他 匿名をご希望の方 1名

【ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました】

齊藤政宏・せい子

上記は2018年11月1日から2019年1月31日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2月1日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【協力団体・助成団体】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／国際ソロプチミスト大阪-中央
(独)国際協力機構(JICA)／(財)農村更生協会 ハヶ岳中央農業実践大学校
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(公社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アフリカ料理 トライブス／(特活)国際協力 NGO センター／(株)プレジャーワークス
(特活)環境アリーナ研究機構／ソフトバンクつながる募金
LIFULL ソーシャルファンディング／環境メディアフォーラム有限責任事業組合

【写真を提供しました】

愛知県環境部地球温暖化対策課温暖化対策グループ

「地球温暖化に関する一般県民向け啓発テキスト『今はじめよう 地球のためにできること』」

「緑のサヘル」からお知らせ

BOOK 募金が終了しました！

長い間、皆様にご協力いただいて来た「BOOK 募金」ですが、残念ながら1月末を持ちましてサービス終了となりました。「BOOK 募金」を通して活動を支えて下さった皆様、本当に有難うございました。

* これまでお送りした申し込みチラシも、お使いになれませんのでご注意下さい。

年賀状の書き損じ・ハガキ・切手などは「緑のサヘル」へ！

書き損じハガキでも、手数料を払うことによって新しいハガキや切手に交換することが出来ます。

どうぞ事務局までお送りいただき、「緑のサヘル」の活動を支えて下さい！



【 もくじ 】

- | | |
|----------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・ブルキナファソ活動地域図 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

●ブルキナファソはだんだん暑くなり、温度計は30度を示すようになりました。間もなく寒いさなかの日本に帰国します。この気温差に、日本との距離を実感します。(岡本)

●毎年、最初のニュースレターはいつもよりちょっとだけ気合が入ります。今年もまた「緑のサヘル」の情報をお届け出来、嬉しい限りです。(菅川)

●ブルキナファソの料理で一番好きなのは、大谷さんが作る「アチェケ」です。蒸したキャッサバの上に素揚げした鰯のぶつ切りをのせ、揚げ油をかけて食べます。塩味のみ。これがおいしいんです。(本所)

●真冬の日本からブルキナへ。「おかえり～」の声や、不在すら感じさせない日常のやりとりが嬉しい。そんなのどこかに反して国内の状況が上がり、移動制限がかかる現状に悶々としています。(大谷)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

♪ メニューがリニューアルしました ♪

ハケ岳農場の特産品

「ハケ岳中央農業実践大学校」の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々。おなじみのチーズ・アイスクリーム・カレーに、卵・乳製品が加わりました。送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに
定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00120-7-419488「緑のサヘル」

お振り込みからお届けまで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	4,644	4,752	4,860	4,968	5,076	5,616
B	3種アイス 10個	4,968	5,076	5,184	5,292	5,400	5,940
C	アイス6個	3,564	3,672	3,780	3,888	3,996	4,536
D	チーズ3種	4,536	4,644	4,752	4,860	4,968	5,184
E	カレー2箱/ チーズ5種	6,048	6,156	6,264	6,372	6,480	7,020
F	ヨーグルト/ 牛乳	2,916	3,024	3,132	3,240	3,348	3,888
G	カレー6箱	4,320	4,320	4,536	4,644	4,752	5,292
H	青卵12個 / ジャム2種	3,996	4,104	4,212	4,320	4,428	4,968
I	赤卵30個	1,728	1,836	1,944	2,052	2,160	2,700
J	アイス20個	7,668	7,776	7,884	7,986	8,100	8,964

※カレーは、スタンダードの一種類です。

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.77

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所雅佳江 大谷恵美 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041